

藻魚

〔本朝食鑑江海有鱗藻魚訓毛〕附笠子魚

集解、細鱗長鰭尾無岐、肉淡白味美脂少、不過尺許、黑色雜白點、如胡麻蒸渣之黑白相交、俗稱胡麻羅。此爲上品、又有騷色者、有形稍短而黑者、此俗稱黑加羅、俱味減矣、大概肉味雖與赤魚眼張相似、此魚爲勝、

〔大和本草海魚藻魚〕長七八寸、其色淡紅ナリ、綠色モマジレリ、無毒、攝州ニテ藻魚ト云ハ西土ニテアコト云魚ナリ、別ナリ、

〔和漢三才圖會江海有鱗藻魚〕藻魚 磯眼張魚 正字未詳 俗云毛以乎、西國俗云以曾女波流、按藻魚狀似眼張魚而眼不大、鰭長赤尾亦赤無岐、肉淡白、脂少味甘平、佳、諸病不妨、大近于尺、冬月其大者俗呼曰阿古乎赤魚之略言歟、最賞之、又有白點者、又有淡黑點者、

黑加羅 藻魚之屬、形稍短而黑、或云加良須〔魚鑑下〕もうを 西國にいそめばるといふ、鱗細く鰭長く、頭面あかをに似て、尾に白黒の斑點あり、この魚胎生なり、味ひ極上品なり、別て冬月美し、

〔毛吹草〕尾張 那古屋藻魚

笠子

〔本朝食鑑江海有鱗藻魚訓毛〕附笠子魚略 中

一種有笠子魚者、略與藻魚相似、而頭圓大、背尖長、鱗色灰白、味最劣焉。〔魚鑑上〕かさご 俗にあんぼんたんといふ、状もうをに似て、頭圓く大く背尖り、鱗あらく、味下劣なり、赤黒兩種、又鬼笠子の類あり、

鮎魚女

〔書言字考節用集五氣形〕石斑魚本草、生溪間、水石處、長數寸、白鱗、黑斑、如虎文、

〔物類稱呼二〕鮎魚女あいなめ 奥州にてねうをといひ、又まんどよと云、同國南部にてはあぶらめと云、佐渡にてまうと云、駿州にてべろと云、略 中